

研究指定校名 : 倉吉市立北谷小学校

## 1. 学校の概要

学校名	倉吉市立北谷小学校
学級数	6学級
児童生徒数	全児童数：59人（平成31年1月18日現在）
URL	<a href="http://cmsweb2.torikyo.ed.jp/kitadani-e/">http://cmsweb2.torikyo.ed.jp/kitadani-e/</a>

## 2. 調査研究のテーマ

### (1) 調査研究のテーマ

伝え合い、認め合い、高め合いながら主体的に行動する子ども

### (2) 調査研究のテーマを設定した背景

これまで、中学校区で校種間や地域の連携をもとにした取組をはじめ、人権学習として各学年の発達段階に応じて人権課題を取り上げて学習を進め、子どもたちは友達を大切にすること等人権感覚を磨いてきている。また、本校ではホワイトボード・ミーティング®のコミュニケーションスキルを活用して普段の学習や生活の場面で児童は友達の考えを聞き、認め合う活動を積み上げてきた。

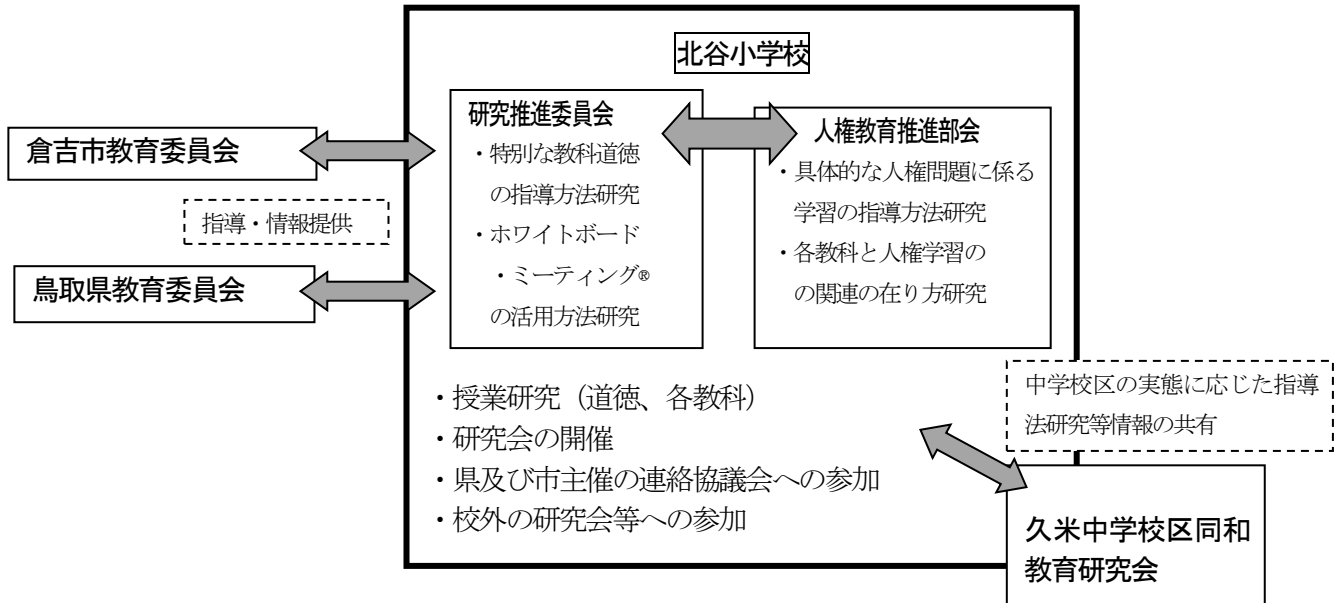
しかし、これまでの調査では本校児童は自己肯定感や自己有用感が低い実態があり、実際には自分の考えはあるものの自信が持てないことで行動に移すことができなかつたり、自分の考えを伝えることを苦手したりするなど、周りの人の考えに流されてしまい学んだことを生かしてきれていない児童の姿があった。

これらのことから、本校では、「人権教育の指導方法等の在り方について [第三次とりまとめ]」をもとに、ホワイトボード・ミーティング®のスキル等これまで積み上げてきたことを行動に生かすことにつながる指導方法や具体的な人権問題に係る学習の指導の在り方を調査・研究し、自他を大切にして考えを伝え合いながら主体的に行動する子どもを育てることが必要であると考えた。

### (3) 取り組む人権課題（該当するものに○印。複数選択可）

①女性	
②子供	○
③高齢者	○
④障害者	○
⑤同和問題	○
⑥アイヌの人々	
⑦外国人	○
⑧HIV感染者・ハンセン病患者等	○
⑨刑を終えて出所した人	
⑩犯罪被害者等	
⑪インターネットによる人権侵害	
⑫北朝鮮当局による拉致問題等	
⑬いじめ	○
⑭性的指向、性自認	
⑮その他（ ）	

### 3. 調査研究の推進体制



### 4. 調査研究の内容等

#### (1) 調査研究の内容等

(現状の分析と課題)

下表のとおり、児童アンケートでは、自己肯定感等に係る項目が低い結果であった。教師の指示をよく聞き、努力する姿は見られるが、自分の考えをもとに判断して行動したことや努力していることに対する自分や周りの評価が低いと思われる。

また、ホワイトボード・ミーティング®コミュニケーションスキルの積み上げ、毎日のいい所見つけの取組等により、認められてうれしいなど、自分を肯定的に感じる場面を設けてきているが十分でないと思われる。

アンケート項目	肯定的意見
私は、友達から大切にされていると思う。	67.9%
私は、友達からがんばりをほめられたり、ありがとうと言われたりしている。	69.8%
私は、友達の考えをよく聞いて良い所を見つけたり自分の考えを深めたりしている。	73.5%
私は、良いところや頑張っていることがある。	75.4%

(平成29年度2学期末の児童アンケート(抜粋))

(調査研究の内容)

- ・自分を価値ある存在であることを実感することのできる場面を設け、自己肯定感や自己有用感を育てる。
- ・自分の考えや判断力を信頼し、主体的に行動できる子どもを育てる。

ホワイトボード・ミーティング®の手法により、認められることのうれしさを実感し、友達を大切にしようという気持ちや態度が育ってきている。これらのことからこれまで進めてきたコミュニケーションスキルの積み上げを継続しつつ、人権教育で育てたい資質・能力を効果的に育てる学習指導の在り方や「参加型」の学習等指導方法を研究し、実践することにより、主体的に行動する子どもが育つと考える。

## (実施方法・検証・評価)

### ○実施方法

#### ①ホワイトボード・ミーティング®のコミュニケーションスキルの活用

##### ◇特別の教科道徳での活用

- ・主とする研究教科である特別の教科道徳の授業ではホワイトボードを使用するとともに、オープンクエスチョンを使った話し合いを積極的に取り入れる。

##### ◇各教科での活用

- ・昨年度から始めている各教科でのホワイトボード・ミーティング®を活用した指導の成果を生かすとともに、さらに、話し合いを深めるための指導方法を工夫する。

#### ②人権学習の指導方法の研究及び実践

##### ◇特別の教科道徳の授業研究に沿った人権教育の実践

- ・人権教育における育てたい資質・能力を学習に位置づけた授業実施・指導方法の評価
- ・指導する道徳的価値を明確にし、児童が「自分事」として問題を捉え、考える授業の工夫
- ・本校における人権教育に係る児童の実態に重点を置いた授業実践

##### ◇児童会活動の充実・推進

- ・「がんばりんご」の取組（よい所見つけ）を児童の努力点に目をつけて評価する方法に変更
  - ・帰りの会の時間を5分間延長し、「がんばりんご」の時間を確保
  - ・学期末にホワイトボード・ミーティング®を活用し、児童自身が学校生活を振り返る取組
  - ・縦割り班活動の工夫（なかよし給食、なかよし班遊び、SD活動）
  - ・緑の学習（ドングリ学校、一人一鉢活動、保育園園児との花の種まき、野菜の栽培）の工夫
- ※SD活動：中学年児童がグループのリーダーになり、活動内容を立案、推進する活動

#### ③講師を招いた研究会の開催

- ・ホワイトボード・ミーティング®認定講師による授業研究及び基本的なスキル習得のための研修
- ・特別の教科道徳の指導方法に係る研修
- ・人権教育の指導における基礎知識及び指導法に係る研修

#### ④実態把握、意識調査

- ・学期末の学校評価アンケート、ハイパーQU（hyper-QU）の実施、考察
- ・「みつめてみよう自分の心」アンケートの実施、必要に応じた児童への対応

### ○検証・評価

#### (成果)

##### ◇自己肯定感、自己有用感の向上、主体的に行動する児童の育成

- ・下表のとおり、自分の頑張りを認め、友達から大切にされていると感じる児童や自分からが進んで発表しようとする児童が増えた。（表1）
- ・「よい所見つけ」は頑張っている姿を見つけることを重視して取り組んだことで、自己肯定感の向上につながった。
- ・児童によるホワイトボード・ミーティング®スキルを活用した学期末の学校生活に係る話し合いにより、あいさつや言葉遣いに気をつけ、もっと学校生活を向上させようという児童の意識が高くなった。
- ・ハイパーQU（hyper-QU）調査結果では、「満足群」に属する児童が増加した。（表2）

##### ◇教師の指導スキルの向上

- ・人権教育における育てたい資質・能力を位置づけた授業展開や評価方法について学んだことが、普段の指導に生かされてきている。
- ・西野統括調査官による研修は、道徳の授業のあり方を見直す機会になり、教員の道徳授業に対する工夫改善意欲が高まったことにより、授業スキルが向上した。



【がんばりんごの取組】



【ホワイトボード・ミーティング®を活用した学期末の話し合い】

- ・ホワイトボード・ミーティング®スキルを各教科で活用し、児童の話合いが活発に行われる授業実践が進んだ。



【西野先生を招いて行った授業研究】

(課題)

▲ホワイトボード・ミーティング®のさらなる活用

- ・オープンクエスチョン等を型通りに使うだけで、実際の話合いに効果が表れていない場合があることから、さらに活用方法の工夫が必要である。

▲特別の教科道徳の授業実践の積み上げ

- ・人権教育における育てたい資質・能力を位置づけた授業実践の積み上げ、資質・能力の育成を図る。
- ・特別の教科道徳の授業について、学習した道徳的価値項目の行動化を目指した授業のあり方の研究を進める。

▲研究の成果を学級経営に生かす

- ・hyper-QUの結果(表2)から学級の人間関係に不満足な児童がいることから、学級での良好な人間関係づくりや積極的に友達に関わろうとする児童の育成を目指し、今年度の成果を学級経営に生かす取組が必要である。

【表1：アンケート調査結果】

アンケート項目	肯定的な回答	
	H29.12月	H30.12月
私は、友達から大切にされていると思う。	67.9%	86.3%
私は、友達からがんばりをほめられたり、ありがとうと言われたりしている。	69.8%	82.4%
私は、友達の考えをよく聞いて、所見つたり自分の考えを深めたりしている。	73.5%	90.2%
私は、良いところや頑張っていることがある。	75.4%	94.1%
前よりも進んで発表しようという気持ちが強くなった。	—	86.2%

【表2：hyper-QU調査結果】

	6月	11月
学級満足度尺度 学校生活満足群	51.8%	59.2%
学級満足度尺度 非承認	10.8%	5.4%
学級満足度尺度 侵害行為認知群	2.7%	2.7%
学級満足度尺度 不満足群	29.6%	29.6%

※ハイパーQU実施学年4年～6年 計27人

(2) 実施内容

時期	内容	備考
4月2日	第1回校内研究推進委員会	参加者7人
4月26日	・研究テーマ、研究方針、授業研究等の協議 ・人権教育の推進に係る計画について	
4月26日	校内人権教育部会	参加者5人
4月26日	・研究方針の共通理解と研究内容の吟味 第1回「人権教育研究推進事業」連絡協議会 ・人権教育研究推進事業について ・推進計画に係る共通理解及び今後の計画の確認	参加者1人 会場：倉吉市役所
5月10日	第2回校内研究推進委員会	参加者5人
5月23日	・研究テーマ等の確認、校内授業研の実施計画 第1回校内研究会 (講師) 鳥取県教育委員会中部教育局 学校教育担当 福田早百里指導主事 ・研究テーマや実施計画の共通理解 ・人権教育研究推進事業実施計画に係る共通理解	全教職員

6月 1日	<p>第1回校内研究授業会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ホワイトボード・ミーティング®研修 公開授業及び講師による授業実施及び研究会 (講師) ホワイトボード・ミーティング®認定講師 大東市立深野小学校 山本智子教諭</li> </ul> <p>鳥取県教育委員会人権教育課 松井 貴宏 指導主事 鳥取県教育委員会中部教育局 福田早百里 指導主事 倉吉市教育委員会学校教育課 山本 千恵 指導主事</p>	<p>全教職員 中学校区内公開 授業 参加者20人</p>
6月 6日	hyper-QU調査	
6月13日	人権学習参観日の実施	
6月18日	<p>第2回校内授業研究会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「特別の教科」道徳の授業（3年） (指導助言) 鳥取県教育委員会人権教育課 松井 貴宏 指導主事 鳥取県教育委員会中部教育局 福田早百里 指導主事 倉吉市教育委員会学校教育課 山本 千恵 指導主事</li> </ul>	全教職員
7月 4日	<p>第3回校内授業研究会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「特別の教科」道徳の授業（5年） (指導助言) 鳥取県教育委員会中部教育局 福田早百里 指導主事 倉吉市教育委員会学校教育課 山本 千恵 指導主事</li> </ul>	全教職員
7月上旬 1学期末	<p>教育評価アンケートの実施・結果考察、周知 児童自身による学校生活の見直し・改善計画立案</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ホワイトボード・ミーティング®による3年生以上の児童の話合い</li> <li>・2学期から児童自身の話合いによる生活目標の決定・実施</li> </ul>	
8月 8日	<p>久米中校区夏季研修会 ホワイトボード・ミーティング®研修 (講師) ホワイトボード・ミーティング®認定講師 大東市立深野小学校 山本智子教諭</p> <p>※久米中学校区内4校で共通テーマのもの研究を進めている。今年度はホワイトボード・ミーティング®のスキルについて職員が講義を受けた</p>	<p>久米中校区4校 の教職員等を対象 参加者50人 会場：交流プラザ</p>
8月22日	<p>校内研修会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○人権学習の指導に係る考え方及び指導方法について (講師) 鳥取県教育委員会人権教育課 松井 貴宏 指導主事</li> <li>・人権とは、人権教育をめぐる動き等</li> <li>・鳥取県がめざす人権教育について</li> <li>・演習</li> <li>○人権学習年間指導計画及び学習内容の見直し</li> <li>・計画の見直し、各教科との関連の再確認と修正</li> </ul>	全教職員
9月26日	<p>第4回校内授業研究会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「特別の教科」道徳の授業（6年）</li> </ul>	全教職員

10月18日	<p>第5回校内授業研究会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・公開授業 「特別の教科」道徳の授業（1年）</li> <li>・講義 (講師) 国立教育政策研究所 西野真由美 統括研究官</li> </ul> <p>鳥取県教育委員会人権教育課 松井 貴宏 指導主事 鳥取県教育委員会中部教育局 福田早百里 指導主事 倉吉市教育委員会学校教育課 山本 千恵 指導主事</p>	全教職員
11月 7日	<p>第6回校内授業研究会</p> <p>「特別の教科」道徳の授業（4年） (指導助言)</p> <p>鳥取県教育委員会人権教育課 松井 貴宏 指導主事</p>	全教職員
11月28日	<p>久米中校区同和教育研究大会参加 hyper-QU調査結果の検証</p>	全教職員
12月 5日 2学期末	<p>第7回校内授業研究会</p> <p>「特別の教科」道徳の授業（2年） (指導助言)</p> <p>鳥取県教育委員会人権教育課 松井 貴宏 指導主事</p> <p>教育評価アンケートの実施・結果考察、周知 児童自身による学校生活の見直し・改善計画立案</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ホワイトボード・ミーティング®による3年生以上の児童の話合い</li> <li>・3学期から児童自身の話合いによる生活目標の決定・実施</li> </ul>	全教職員
1月 9日	○研究のまとめ	全教職員
2月14日 2月中旬 2月22日	<p>人権教育研究推進事業報告会 第2回「人権教育研究推進事業」連絡協議会</p> <p>○研究収録作成</p> <p>○久米中校区人権教育部会 ・研究のまとめ（成果と課題の共有）</p>	<p>参加者1人</p> <p>60冊作成 (配布先) 関根郷 中校区小学校等 久米中学校 参加者4人</p>